

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	鈴木 繁浩
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	鈴木 繁浩

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価				
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性			
					(年度)	(年度)									
施策1	課題1	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	20,000	20,000	C	継続	
								2	コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	40,000	1,040	C	継続	
								3	教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	6,300	5,925	A	拡大	
	課題2	石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (R7)	2,164 (R2)	1,967 (R3)	1	東日本誘客推進事業費	首都圏観光客	35,740	13,104	C	見直し	
								3大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	4,667 (R2)	4,300 (R3)	1	西日本誘客推進事業費	関西・中京圏観光客
			2	いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	三大都市圏観光客	23,000	20,378						B	拡大	
			3	戦略的インターネット活用誘客推進事業費	三大都市圏観光客	17,500	7,737						-	継続	
			再掲	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	20,000	20,000	C	継続
									再掲	東日本誘客推進事業費	観光客全般	35,740	13,104	C	見直し
			1	県内トップスポーツチーム連携誘客推進事業費	観光客全般	1,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	誘客プロモーション事業費	観光客全般													
課題3	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	12,307 (R3)	1	JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500	11,500	B	継続		

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名: ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度: H28	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課
	根拠法令・計画等: ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名: 主任主事 堺 圭吾 者 電話番号: 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 20,000千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
 - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、ブースを設置し、パンフレットの配布のみ実施(7箇所)
 - (2)大手企業等での出前型観光物産展の開催
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、企業内でパンフレットの配布のみ実施(1箇所)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費					
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	10,000	6,500	8,000	8,000	20,000
一般	0	0	0	0	0
財源	0	0	0	0	0
事業費累計	61,000	67,500	75,500	83,500	103,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、観光物産展を開催したが、新型コロナウイルスの影響により、イベント等のPR活動は行わず、ブース設置による観光パンフレットの配布を行うことで誘客促進を図った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、百貨店や大手企業等での観光物産展による誘客プロモーションなど、引き続き、(公社)石川県観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 西納 佑菜
					者 電話番号	076 - 225 - 1543 内線 3947

<事業の背景及び目的>
 県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。R3年度から、感染症対策の時的措置として支給要件の県外参加者人数の下限を県外参加者50人以上に引き下げるとともに、コロナ対策に係る経費を対象とした新たな補助メニューを追加。

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外
支給条件	人数 県外参加者50人以上
	規模 北陸地域（石川県、富山県及び福井県）を超える規模のもの
	会期 連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること。 ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること。 ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	① 基本補助（下記別表参照） ② バス補助 ：バス借上げ費用の1/3（上限100万円） ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③ 加賀能登宿泊追加補助 ：1,000円/人（上限50万円） ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。 ④ 感染症拡大防止対策経費追加補助 ：補助対象経費の3分の1 上限額：①の基礎補助額又は30万円のいずれか低い額 対 象：別紙「感染症拡大防止対策に係る補助対象経費例」
申請時期	開催日の1ヵ月前

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307	

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	45,644	48,415	56,000	50,000	40,000
	決算	44,833	48,255	38,836	320	1,040
一般	予算	45,644	48,415	56,000	50,000	40,000
	決算	44,833	48,255	38,836	320	1,040
事業費累計	44,833	93,088	131,924	132,244	133,284	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	コロナ対策として補助要件の緩和を行ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、コンベンションの中止や、リモート参加と現地参加のハイブリッド開催などにより、結果的に県外参加者数が見込みを下回った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	令和3年度より導入したコロナ対策として補助要件を緩和した補助制度の活用を促進し、引き続き、県内で開催されるコンベンションの誘致を図るため、(公財)金沢コンベンションビューローと連携したPRの実施などに取り組む。

県外参加者数			県外参加者数			県外参加者数		
国内	国際		国内	国際		国内	国際	
50人 ~ 99人	4	80	2,100人 ~ 2,199人	168		4,100人 ~ 4,199人	328	
100人 ~ 199人	8	100	2,200人 ~ 2,299人	176		4,200人 ~ 4,299人	336	
200人 ~ 299人	16	140	2,300人 ~ 2,399人	184		4,300人 ~ 4,399人	344	
300人 ~ 399人	24	180	2,400人 ~ 2,499人	192		4,400人 ~ 4,499人	352	
400人 ~ 499人	32	220	2,500人 ~ 2,599人	200		4,500人 ~ 4,599人	360	
500人 ~ 599人	40	260	2,600人 ~ 2,699人	208		4,600人 ~ 4,699人	368	
600人 ~ 699人	48	300	2,700人 ~ 2,799人	216		4,700人 ~ 4,799人	376	
700人 ~ 799人	56	340	2,800人 ~ 2,899人	224		4,800人 ~ 4,899人	384	
800人 ~ 899人	64	380	2,900人 ~ 2,999人	232		4,900人 ~ 4,999人	392	
900人 ~ 999人	72	420	3,000人 ~ 3,099人	240		5,000人以上	400	(上限)
1,000人 ~ 1,099人	80	460	3,100人 ~ 3,199人	248				
1,100人 ~ 1,199人	88	500	3,200人 ~ 3,299人	256				
1,200人 ~ 1,299人	96	540	3,300人 ~ 3,399人	264				
1,300人 ~ 1,399人	104	580	3,400人 ~ 3,499人	272				
1,400人 ~ 1,499人	112	620	3,500人 ~ 3,599人	280				
1,500人 ~ 1,599人	120	660	3,600人 ~ 3,699人	288				
1,600人 ~ 1,699人	128	700	3,700人 ~ 3,799人	296				
1,700人 ~ 1,799人	136	(上限)	3,800人 ~ 3,899人	304				
1,800人 ~ 1,899人	144		3,900人 ~ 3,999人	312				
1,900人 ~ 1,999人	152		4,000人 ~ 4,099人	320				
2,000人 ~ 2,099人	160							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度	H15	事業終了予定年度	
	根拠法令	ほっと石川観光プラン2016		
	計画等			

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	氏名	専門員 六田 雄介		
者	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業を契機に全国的な注目度が高まっている中、将来の石川ファン拡大に繋がる取り組みとして、教育旅行誘致を重点事業の一つに位置付け、戦略的な誘致活動の展開を図る。

<事業の概要>

(1) 誘致活動

- ① 三大都市圏の学校、旅行会社への直接訪問
- ② 学校、旅行会社の視察等受入(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ③ 教育旅行誘致資料の作成(ダイジェスト版の作成)
- ④ 北陸三県で連携した誘致活動の実施
(旅行会社向けオンライン説明会・商談会(1回)、修学旅行スポットPR動画の制作等)
- ⑤ 関西圏での旅行会社向け説明会・商談会の実施(1回)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

(2) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置
 北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置

(3) 受入体制の強化

- ① 宿泊施設向け受入研修会の開催(1回)
- ② 首都圏大手旅行会社教育旅行担当者による現地視察会の実施(1回)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ③ 新たな教育旅行向けプログラムの開発(意見交換会の実施等)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	4,000	7,000	6,000	6,000	6,300
	決算	4,000	7,000	5,460	5,991	5,925
一般	予算	2,000	3,500	3,000	3,000	3,150
財源	決算	2,000	3,500	2,730	2,995	5,925
事業費累計		19,800	26,800	32,260	38,251	44,176
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により旅行先を本県に変更する学校の増加に加え、修学旅行誘致戦略マネージャー等による三大都市圏の学校、旅行会社への訪問やオンラインでの説明会・商談会など積極的な誘致活動を実施したことにより、令和3年度の修学旅行の受入れ実績は、三大都市圏から過去最多となる310校・64,898人(R2:89校・16,329人)が来県し、成果を上げている。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	北陸新幹線の県内全線開業により、時間的に近くなる関西・中京圏の旅行会社の教育旅行担当者を新たに県内に招へいし現地研修を実施するなど、修学旅行誘致を一層推進するとともに、近年学校のニーズが高まっているSDGsをテーマとした体験学習プログラムを新たに開発するなど、修学旅行の受入体制を強化する。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東日本誘客推進事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 西納 佑茉
					者 電話番号	076 - 225 - 1543 内線 3947

<事業の背景及び目的>
 令和6年春の北陸新幹線県内全線開業に向け、JR等と連携したターゲットを絞った個人誘客や交通事業者・大手旅行会社と連携した誘客プロモーションの推進を通じ、更なる潜在需要の掘り起しとリピーター獲得に取り組むことで、首都圏等からの誘客拡大を図る。
 また、新幹線開業により増加する東北地方からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JR東日本グループや大手旅行会社等と連携し、本県への旅行を促す具体的取り組みを進めることで、東北からの更なる誘客を図る。

- <事業の概要>
【首都圏】
 (1) 大手私鉄グループ等と連携した誘客キャンペーンの推進
 ・電車広告による情報発信、成約特典キャンペーンの実施など
 (東武鉄道(東武トップツアーズ)・東京急行電鉄(東急トラベルサロン))
 ・東京メトロ車内モニターを活用したPR映像の放映
 ・長野県における誘客キャンペーンの実施
- (2) JR東日本と連携したターゲットを絞った個人誘客の推進
 ・JR東日本シニア会員誌「大人の休日倶楽部」を活用した魅力発信、旅行商品の造成
 ・JR東日本関連旅行会社(びゅうトラベル)と女性向けWEBサイト「オズモール」が連携した魅力発信、旅行商品の造成
- (3) 善光寺御開帳(R4年4月)に合わせた長野県と連携した誘客推進
 ・店頭販促キャンペーン及び雑誌「ノジュール」等を活用した情報発信
- 【東北地方】**
 (4) 大手旅行会社・交通事業者と連携した誘客プロモーション
 ・旅行会社での販促キャンペーン
 ・インターネット(旅行記事サイト・SNS等)を活用した情報発信
 ・東北エリアの公共交通機関の広告を利用した情報発信

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	首都圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	7,000	4,135	4,182	4,134	2,164	1,967

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	34,185	37,377	35,500	34,500	35,740
	決算	34,066	37,315	35,500	0	13,104
一般	予算	26,243	18,689	17,750	17,250	17,870
財源	決算	26,181	18,658	17,750	0	13,104
事業費累計		156,616	193,931	229,431	229,431	242,535

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	首都圏からの入り込み客数はコロナ前と比べて大きく減少したものの、旅行意欲が高い若年層女性やアクティブシニアをターゲットとした情報発信や、地元情報誌やインターネットを活用した情報発信等を実施し、アフターコロナを見据えた石川県の魅力発信を行った結果、首都圏からの誘客に一定の効果があつた。 ・「大人の休日倶楽部」特集掲載 ・「オズモール」特集掲載 など
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	北陸新幹線県内全線開業を見据え、引き続き、JR東日本との連携による誘客や、大手旅行会社・交通事業者と連携した誘客プロモーションを実施するとともに、コロナによる旅行者ニーズの変化等を踏まえ、若年層や新婚カップルなどターゲットを設定した効果的なPRに取り組むことで、コロナの影響により落ち込んだ首都圏や東北地方からの観光需要の回復につなげる。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客推進事業費	事業開始年度	H26	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 山田 瑞乃
					者 電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3953

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業により、全国的な注目を受けたことで、関西・中京圏からの入込客数は開業前を上回って推移してきたことから、令和6年春の県内全線開業を見据え、潜在需要喚起に取り組み、誘客拡大を図る必要がある。
 そのため、JRと北陸三県等が連携した通年でのキャンペーンに加え、JRと連携した県内全線開業を見据えた誘客プロモーションを展開するほか、大手私鉄グループ等と連携した誘客プロモーションの推進、マイカー利用者や団体旅行などのターゲットに応じた誘客の推進に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) 大手旅行会社と連携した誘客推進
 - ・JR西日本グループ(日本旅行)と連携した誘客推進
 - 店舗等での販促キャンペーンの実施
 - ・大手私鉄グループと連携した誘客推進
 - (連携先:阪急電鉄、名古屋鉄道、阪神電鉄、近畿日本鉄道)
 - 主要駅構内広告掲載や新たな旅行商品造成
 - (2) 福井県との連携によるマイカー誘客推進
 - ・両県を巡る魅力的なドライブコースを紹介するWebサイトの開設やPRなど
 - ・NEXCOとの連携による高速道路周遊バスの造成支援
 - 周遊バスの利用促進に向けたパンフレット作成などの広報支援
 - ・JAFや大手自動車販売会社との連携による情報発信
 - JAF会員向けHPでのドライブコースの紹介、販売店店頭へのパンフレット配架など
 - (3) イベントを活用した情報発信
 - ・百貨店等における観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - ・石川香川観光パートナーシップ協定に基づく情報発信

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	13,000	8,877	8,919	8,793	4,667	4,300

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	21,000	20,500	28,700	21,800	20,400	
一般	10,500	10,250	14,350	10,900	10,200	
財源	10,500	10,250	14,342	1,931	5,229	
事業費累計	42,146	62,646	91,329	95,191	100,420	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	新型コロナウイルス感染症の影響により関西・中京圏からの入り込み客数は減少したものの、コロナ禍でマイカーを利用する旅行ニーズが高まっている市場変化を踏まえ、福井県と連携し、主にドライブ旅行をターゲットとした情報発信等を実施し、一定の旅行需要を喚起した。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	北陸新幹線県内全線開業も見据え、関西・中京圏からの更なる誘客の強化を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響による市場変化等を踏まえ、引き続き、交通事業者と連携した誘客や、新たに若年層や新婚カップル等のターゲットに応じた個人誘客事業等を実施することにより、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復につなげる。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度 R1	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 三矢 栄峰 者 電話番号 076 - 225 - 1543 内線 3948

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線金沢開業を機に高まった本県への旅行ニーズに対応するため、大手旅行会社と連携し、三大都市圏等の主要店舗の窓口に、本県への旅の魅力を紹介する担当者を「いしかわ観光コンシェルジュ」として配置し、店舗における本県観光情報の恒常的な発信強化と本県への誘客拡大に取り組む。

<事業の概要>

(1) 事業内容

- ・本県観光の積極的な情報発信と、旅行商品販売等による積極的な送客
- ・石川デスク(観光情報コーナー)の設置による通年PR
- ・店頭PRイベントの実施等による販売促進事業の実施
- ・本県視察研修の実施
- ・社内研修の開催(他の販売員への水平展開)
- ・定期的な実績報告と、トレンドを踏まえた本県施策への提言

(2) 実施店舗

- ・首都圏12店舗(R2年度10店舗)、関西圏7店舗(R2年度6店舗)、中京圏5店舗(R2年度3店舗)、東北圏1店舗(R2年度1店舗) 計25店舗(R2年度20店舗)

(3) 配置人数

- ・各店舗1人 計25人

<これまでの見直し状況>

R1年度: 11店舗
 R2年度: 20店舗
 R3年度: 25店舗

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	13,000	8,877	8,919	8,793	4,667	4,300	
事業費							
	(単位: 千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算			6,000	11,000	23,000	
	決算			5,993	16,585	20,378	
一般財源	予算			3,000	5,500	11,500	
	決算			2,997	8,292	0	
事業費累計		0	0	5,993	22,578	42,956	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和3年度はコンシェルジュ店舗を25店舗(R2: 20店舗)に拡大。店舗独自のPRイベントや、SNSなどでの情報発信を通じて、本県観光情報の積極的PRにつなげている。コンシェルジュ店舗への来店者からは、「イベントに参加して、石川県に興味を持った」や「金沢の旅行を考えていたが、延泊して能登へも行きたくなくなった」などの声があり、本県観光情報の充実について評価をいただいている。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	令和4年度はコンシェルジュ配置店舗を30店舗に増加させることで、三大都市圏を中心に本県観光情報の恒常的な情報発信の強化を図り、GoToいしかわキャンペーンで喚起される旅行需要を最大限取り込む。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 戦略的インターネット活用誘客推進事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度		組織 誘客戦略課 職・氏名 専門員 六田 雄介 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			

<事業の背景及び目的>
 近年、個人旅行の情報収集や手配はインターネットが主流となる中、インターネット広告を活用して旅行に関心が高い個人にターゲットを絞った情報発信が大変有効であり、また、コロナ禍においては、非接触型のPR手法としてインターネットの重要性が一層高まっている。
 県では、これまでもインターネットを活用した情報発信や誘客に取り組んできたが、本県が誇る歴史、文化、自然等の本物の魅力を直感的に訴求でき、近年、視聴が大幅に増えている“動画”を活用した観光PRが効果的であることから、令和3年度は、従来の取組みに加え、本県がターゲットとしている女子旅やシニア旅、マイカー旅行をテーマとしたPR動画を制作し、インターネット上で発信することで、新たな旅行需要の掘り起こしと誘客の拡大を図る。

<事業の概要>
 インターネットで広告を配信し本県の魅力を伝える特集サイトへ誘導するとともに、特集サイトの閲覧者がそのままインターネット上で本県への旅行を予約できる仕組みを構築することで具体的な誘客促進を図る。
 (1) インターネット広告等の配信(新型コロナウイルス感染症の影響により未実施)
 ・大手SNS「Instagram(写真投稿)」、「YouTube(動画)」のユーザーに本県の魅力を伝える広告を配信
 ・旅行会社のSNS等を活用して、各旅行会社の会員に広告を配信
 ・SNSで強い発信力を持つインフルエンサーを招聘し、本県の魅力を効果的に発信・拡散
 (2) 特集サイトによる魅力発信
 ・ターゲットに応じた観光魅力を紹介する特集記事の制作(新型コロナウイルス感染症の影響により未実施)
 ・本県の歴史・文化・食・自然の魅力を直感的に訴求するPR動画の制作
 ・旅行会社予約サイトへのリンク掲載

これまでの見直し状況
 H30: 東日本誘客促進事業においてインターネット広告を活用した観光PRを実施
 R1: ターゲットエリアを首都圏から三大都市圏に拡大、大手旅行予約サイト連携誘客促進事業を統合し、連携する大手旅行予約サイトを楽天トラベルを含む7社に拡大
 R3: テーマ別(女子旅、シニア旅、マイカー旅行)に特集サイト・PR動画を制作

施策・課題の状況							
施策	県民生活の調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	13,000	8,877	8,919	8,793	4,667	4,300	

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	12,000	11,000	8,800	17,500	
	決算	12,000	11,000	0	7,737	
一般	予算	6,000	5,500	4,400	8,750	
財源	決算	6,000	5,500	0	7,737	
事業費累計		0	12,000	23,000	23,000	30,737

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	—	本県の魅力を伝える特集サイト及びPR動画を制作したものの、新型コロナウイルスの影響によりインターネット広告等の配信を見送ったため評価が困難。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	R3年度に制作したPR動画は新型コロナウイルスの影響により、主に冬の映像となったため、R4年度は夏の動画を充実させるとともに、R3年度に実施を見送ったインターネット広告を配信し本県特集サイトへ誘導することで、具体的な誘客を図ることとする。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 県内トップスポーツチーム連携誘客推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	専門員 古仲 亜沙美			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944			

<事業の背景及び目的>
 スポーツへの関心が高まる中、本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チーム及びアマチュアスポーツチーム1チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

- <事業の概要>
- (1) 事業内容
- ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツチーム3チーム及びアマチュアスポーツチーム1チームが行う観光PRへの支援を実施
- (2) 連携先
- (県内プロスポーツ3チーム)
- ・ツエーゲン金沢(サッカー) : 法人名 株石川ツエーゲン(H22設立)
 - ・石川ミリオンスタース(野球) : 法人名 石川ミリオンスタース(H18設立)
 - ・金沢武士団(バスケットボール) : 法人名 北陸スポーツ振興協議会株(H27設立)
- (県内のアマチュアスポーツ1チーム)
- ・ヴァンセドール白山(フットサル) : 法人名 (一社)FSVスポーツアカデミー(H28設立)
- (3) PR方法
- ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出
 - ・観光PRブースの設置(チームスタッフによる観光パンフレットの配布等) など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307	
事業費							
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	4,080	4,000	4,000	2,500	1,000	
	決算	4,079	3,983	3,745	0	0	
一般	予算	2,040	2,000	2,000	1,250	500	
	決算	2,040	1,992	1,873	0	0	
財源	決算	2,040	1,992	1,873	0	0	
事業費累計		4,079	8,062	11,807	11,807	11,807	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	-	新型コロナウイルスの影響による事業中止のため、有効性についての評価が困難。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県への誘客促進を図るため、アウェイゲームでの観光パンフレットの配布など県内トップスポーツチームと連携した三大都市圏等における観光PRに取り組む。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 塩田 弥生			
	電話番号	076 - 225 - 1671 内線 3952			

<事業の背景及び目的>
 ひやくまんさんを活用し、三大都市圏や東北地域等の重点誘客エリアにおいてプロモーション活動を行うとともに、ひやくまんさんが県内観光地を紹介する観光PR動画の制作・配信や、ひやくまんさんがインフルエンサーとともに県内を紹介するSNSを活用したPRを新たに実施することで、全国に向けて石川の魅力を広く発信する。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
 - (2) ひやくまんさんを活用したPR動画の制作・配信 ※中止
 - ・ひやくまんさんが県内観光地を紹介するPR動画「ひやくまんさん県内探訪記(仮)」を制作。大手動画配信サイトやSNS等を活用し、石川県の魅力を広く発信する。
 - (3) インフルエンサーとひやくまんさんによる観光PR ※中止
 - ・ひやくまんさんがインフルエンサーと県内観光をめぐる写真や動画を撮影し、インフルエンサーが自身のインスタグラムアカウントで発信。
 - (4) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
 - (5) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D	
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307	
事業費							
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
	決算	15,000	15,000	15,000	4,100	5,800	
一般	予算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
	決算	15,000	15,000	15,000	4,100	5,800	
事業費累計		15,000	30,000	45,000	49,100	54,900	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	令和3年度の出演実績は、新型コロナウイルス感染症の影響による集客イベントの中止等により、47回(R2比: 92.2%、R1比: 38.8%)と前年度を若干下回った。こうした中でも、ノベルティを作成し、より幅広く効果的なイベントで配布することで本県の観光魅力の発信を行った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	引き続き、本県への誘客促進を図るため、「ひやくまんさん」を活用して県内外に向けた積極的な観光PRに取り組む。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントへの参加数がコロナ前に比べて減少しているため、SNS等による情報発信を行うなど、イベント参加以外でのPRについても今後強化していく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		組織 誘客戦略課
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016			
					電話番号 076 - 225 - 1671 内線 3951

<事業の背景及び目的>
 東京オリンピック・パラリンピック、北陸新幹線敦賀延伸及び延伸にあわせた北陸デスティネーションキャンペーン(北陸DC)など、北陸にとって節目となるトピックスが続くことから、開業7年目を以降も、開業効果の持続・発展を図っていくため、北陸三県、JR及び北陸経済連合会が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

<事業の概要>
 (1) キャンペーン全体スケジュール
 令和3年 4月～令和3年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
 令和3年12月～令和4年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン

(2) 事業内容

- ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
- ・YouTubeなどSNSをはじめとしたWEBメディアを多角的に活用した情報発信
- ・首都圏での冬の食のPR、マスコミ訪問
- ・成約特典費付与による旅行商品化支援、店頭販促キャンペーン
- ・ホームページでの北陸エリアの魅力発信

施策・課題の状況						
施策	国民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	12,307

事業費					
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	11,500	11,500	11,500	11,500
	決算	11,500	11,500	11,500	11,500
一般	予算	5,750	5,750	5,750	5,750
財源	決算	5,750	5,750	5,750	11,500
事業費累計	11,500	23,000	34,500	46,000	57,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルスの影響下で計画通りに活動できない状況ではあったが、パンフレット・ポスター等での魅力発信及び、旅行会社に対する観光素材提案等を継続実施し、アフターコロナを見据えた観光誘客促進を図り、北陸ブランドの定着に努めた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	2024年3月の北陸新幹線敦賀開業、2024年秋の北陸デスティネーションキャンペーンに向けて、開業効果を持続・発展させていくため、引き続き、JRと北陸三県等が連携した通年キャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。